

パブリックコメント用

## 第5次登別市社会教育中期計画（案）

平成28年 月

登別市教育委員会

# 目次

1	総論	
	(1) 策定の趣旨	1
	(2) 計画の性格	2
	(3) 計画の構成	4
	(4) 計画の期間	5
2	人づくり	
	(1) 青少年世代	6
	(2) 成人世代	8
	(3) 高齢者世代	10
3	家庭教育	12
4	文化活動	14
5	健康づくり・スポーツ	16
6	学習環境の整備	18

# 1 総論

## (1) 策定の趣旨

これまでの社会教育行政は第4次登別市社会教育中期計画（平成23年度～平成27年度）に基づき推進してきました。

この間、少子高齢化や人口減少社会の進行とともに、個人の価値観やライフスタイルの多様化など社会情勢が大きく変化してきました。

そのような中、国が策定した第2期教育振興基本計画（平成25年閣議決定）では、「一人一人が、多様な個性・能力を伸ばし、充実した人生を主体的に切り拓いていくことのできる生涯学習社会（自立）」、「個人や社会の多様性を尊重し、それぞれの強みを生かして、共に支え合い、高め合い、社会に参画することのできる生涯学習社会（協働）」、「これらを通じて更なる新たな価値を創造していくことのできる生涯学習社会（創造）」という3つの方向性を実現するための生涯学習社会の構築を目指しています。

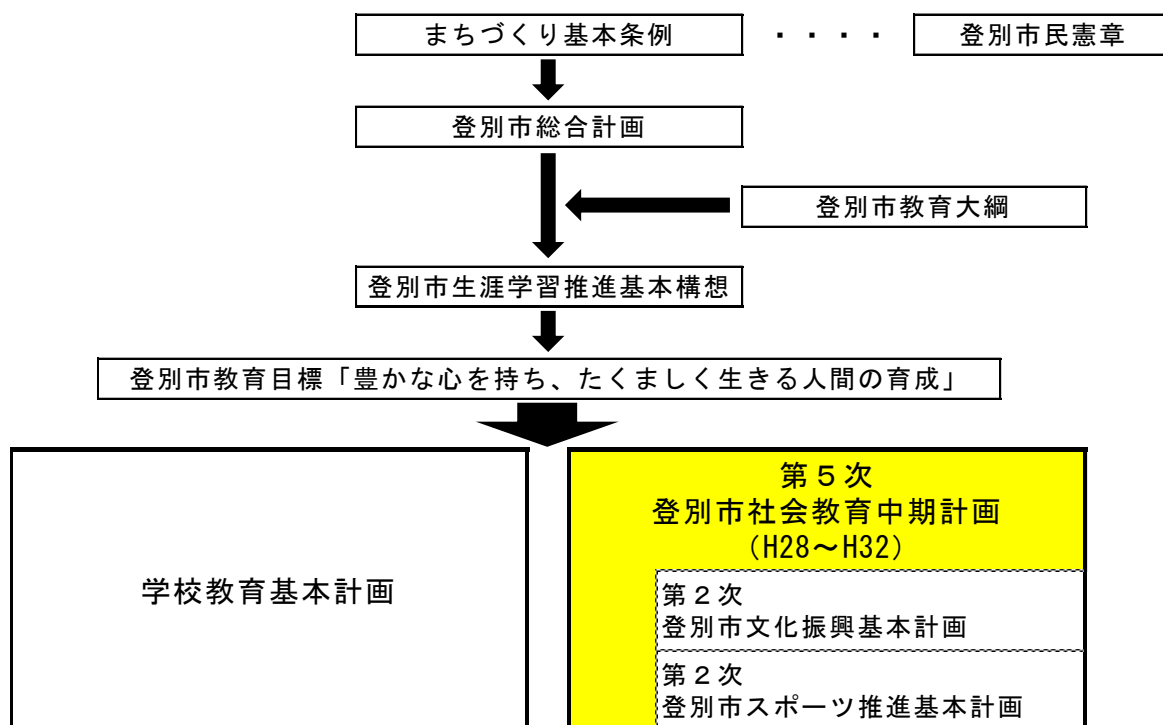
これらの方向性を踏まえ、市民の生涯学習を推進するために、社会教育行政として求められる役割を再認識し、いつでも、どこでも生涯学習を行うことのできる環境整備に努めるとともに、学校や家庭、地域、民間団体等と連携して、市民憲章の理念に基づくまちづくりの根幹となる「人づくり」に取り組むことが重要です。

本市では、これからの社会を展望し、市民の学習成果が地域活動へとつながり、地域活動で生まれた交流を通して、新たな学習機会の創出や多様な地域活動が展開されていく、「知の循環型社会」の構築を推進していくとともに、市民一人ひとりが、健康で安心できる生活の中で、生きがいを持って自分らしさを追い求めることのできる生涯学習社会の実現に向けて、第5次登別市社会教育中期計画を策定するものです。

## (2) 計画の性格

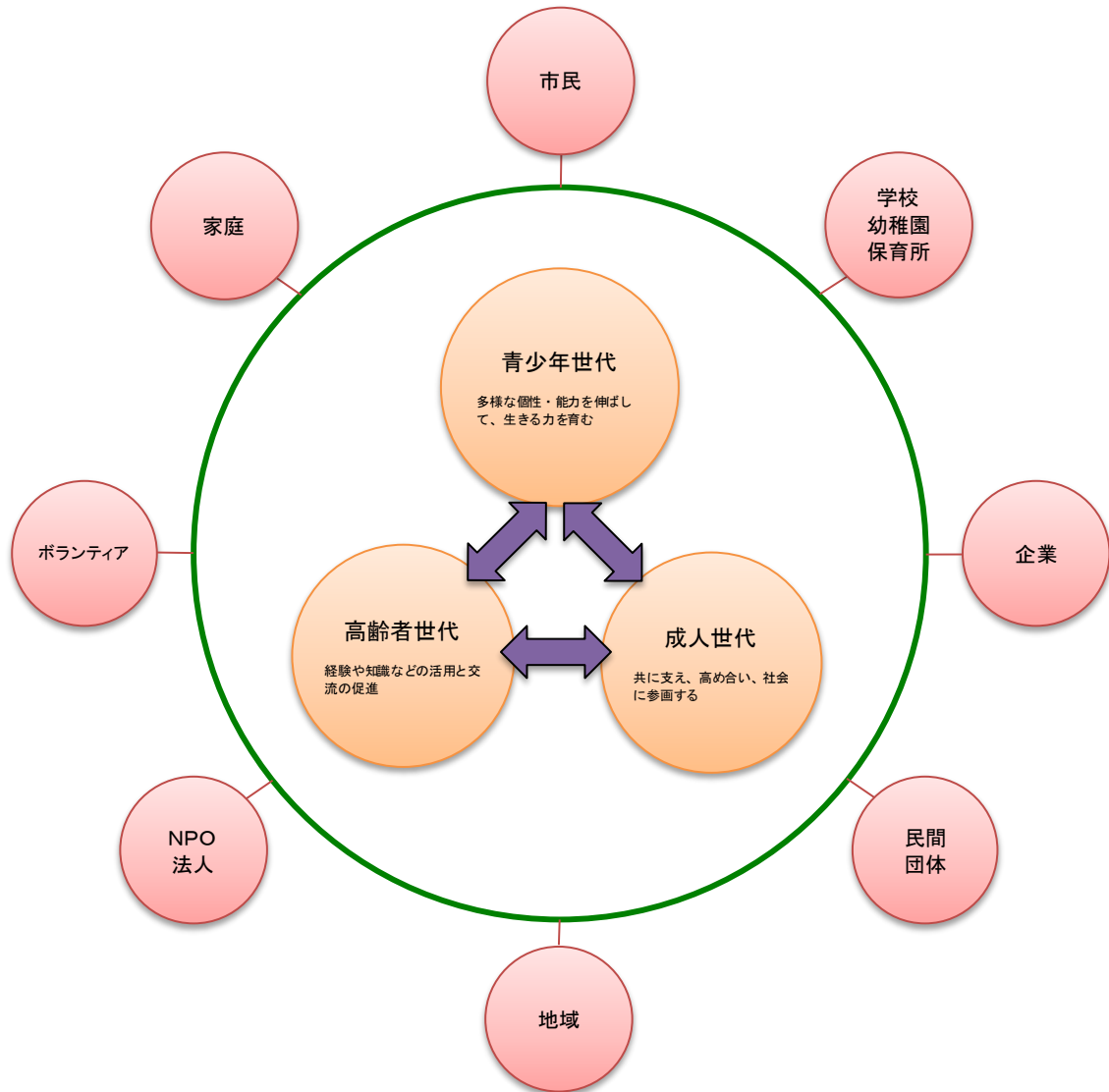
この計画は、登別市総合計画の理念に基づき、登別市生涯学習推進基本構想で目指す生涯学習社会の構築に向け、本市の社会教育を推進するための基本的・総合的な計画です。

### 【社会教育中期計画と他の計画との関係図】



※第2次登別市文化振興基本計画及び第2次登別市スポーツ推進基本計画の推進については、本計画における「文化活動」及び「健康づくり・スポーツ」の取組に位置づけています。

## 【登別市の社会教育(人づくり)のイメージ図】



- 青少年世代 . . . 児童・生徒をイメージ
- 成人世代 . . . 青少年世代から高齢者世代の間をイメージ
- 高齢者世代 . . . 定年後の世代をイメージ

### (3) 計画の構成

本計画は、登別市生涯学習基本構想の基本理念に基づき、次の取り組み項目により構成しています。

<b>人づくり</b>	
青少年世代	<p>目標 これからのまちづくりを担う青少年の健全育成と地域教育力の向上</p> <p>重点施策 ◆コミュニケーション能力の育成に向けた体験活動の充実 ◆地域教育力の向上に向けた学校・家庭・地域などの連携強化</p>
成人世代	<p>目標 学習意欲の向上の奨励と地域活動の担い手の発掘・育成</p> <p>重点施策 ◆地域や企業などが実施する学習の場に関する情報の収集と活用 ◆地域教育力の向上に向けた成人世代の人材発掘・育成</p>
高齢者世代	<p>目標 学習機会の充実と地域の模範となる高齢者の活躍による地域教育力の向上</p> <p>重点施策 ◆学習機会の提供と生涯学習人材バンクの活用の促進 ◆身に付けている知識・技能などを伝える環境づくりの促進</p>
<b>家庭教育</b>	
	<p>目標 「家族の時間」の充実と社会全体での家庭教育の支援</p> <p>重点施策 ◆情報通信機器に対する理解の促進と望ましい生活習慣の啓発 ◆関係機関との連携と企業・地域などの理解の促進による家庭教育の支援</p>
<b>文化活動</b>	
	<p>目標 第2次登別市文化振興基本計画に沿った文化活動施策の推進</p> <p>重点施策 ◆文化の保護・継承と市民の文化活動や文化を育む環境づくりの推進</p>
<b>健康づくり・スポーツ</b>	
	<p>目標 第2次登別市スポーツ推進基本計画に沿ったスポーツ施策の推進</p> <p>重点施策 ◆スポーツ・レクリエーション活動・健康・体づくりの推進 ◆競技スポーツの推進 ◆学校におけるスポーツ活動の推進</p>
<b>学習環境の整備</b>	
	<p>目標 学びの循環と市民の学習の場の確保</p> <p>重点施策 ◆学習に関する情報や学習の成果を活用する機会の提供 ◆ふるさと登別に関する情報の収集と活用</p>

## (4) 計画の期間

本計画の期間は、平成28年度を初年度とする平成32年度までの5年間の計画です。

## 2 人づくり

### (1) 青少年世代

#### 【現状と課題】

かつては、町内会を例とする地域活動などを通して、家庭だけでなく地域全体で子どもを育てていく環境が充実していましたが、近年の青少年を取り巻く状況は、情報通信技術の進展に伴い、テレビ、ゲーム、携帯電話、スマートフォンなどの情報通信機器がより身近なものになり、また、FacebookやLINEなどのSNS（ソーシャル・ネットワーキング・サービス）による新たなコミュニケーションツールが発達してきました。

一方で、情報通信機器を使った新たなコミュニケーションツールの安全な使い方の理解が深まらず、トラブルに発展してしまうことや、自然体験、社会体験、生活体験の機会の減少に比例して、人と人とのふれあいによるコミュニケーションも減少するなど、他者との関係づくりに課題が生じています。

また、地域の繋がりが希薄化しつつある現在は、親が身近な人から子育てを学ぶことや助け合う機会が減少しているなどの理由により、子育ての中心となる家庭における教育の重要性が高まっている一方で、地域活動への参加者は減少している状況です。

本市では登別市ネイチャーセンターを中心とした自然体験活動の場のほか、高齢者を中心とした地域のボランティアによる、様々な体験活動や放課後の子どもの安全・安心な居場所づくりが進められておりますが、担い手は不足しています。

今後も引き続き青少年の健全育成と地域の教育力の向上を図るためには、学校や家庭、地域、NPO法人、ボランティアグループなどの連携を進めるとともに、地域の自然や産業を活かした体験活動を充実させる必要があります。



## 【目標】

これからのまちづくりを担う青少年の健全育成と地域教育力の向上

## 【施策の方向性】

- ・人と人とのふれあいによるコミュニケーション能力の育成
- ・情報通信機器に対する理解を深めるための取組の推進
- ・地域で子どもたちを育てるための学校や家庭、地域、NPO法人などの連携強化
- ・自然体験や社会体験、生活体験の充実

## 【重点施策】

- ◆コミュニケーション能力の育成に向けた体験活動の充実
- ◆地域教育力の向上に向けた学校・家庭・地域などの連携強化

## (2) 成人世代

### 【現状と課題】

これまで本市では、市内の団体が自主的に行う学習会に講師を派遣する市民マイプラン講座や、社会教育活動を行っている団体やサークル、指導者などを掲載した生涯学習人材バンク等の事業に取組み、市民の自主学習の支援に向けた事業を実施してきました。

しかし、近年は、成人世代において、新たな知識や技能の習得など多種・多様な学習意欲が潜在していると考えられますが、学習活動が個人的になっている傾向にあり、ニーズの把握が難しい状況にあります。

また、多くの市民は仕事や家庭の都合などで、講演会や学習会に参加出来ない状況にあることや、学習の場に関する情報収集の方法が分からなかったり、新たに学習グループなどに入ることへの不安もあるものと考えられます。

これまで地域教育力の基礎となる地域活動を担ってきた方々は、世代交代が進まないまま、高齢化が進んでいる状況にあります。今後、地域の特性を生かした教育活動を続けていくためには、これまでの担い手が身に付けた知識や技術などを成人世代が受け継ぎ、循環させることが大切です。

これらを踏まえ、成人世代が学びやすい環境を充実させるには、開催日等に配慮することや時代に即した魅力あるプログラムを提供することなど、事業を企画する際に工夫を凝らし、また、地域や企業が行う学習の場に関する情報の収集と活用も行い、成人世代の方々に多くの関心が得られ、誰もがいつでも学習できる仕組みの構築が必要です。

### **【目標】**

学習意欲の向上の奨励と地域活動の担い手の発掘・育成

### **【施策の方向性】**

- ・ 潜在的な学習ニーズに対応した学習への支援
- ・ 学習機会の充実に向けた情報の収集と提供
- ・ 地域の教育力を高めるための知識や技術などの循環

### **【重点施策】**

- ◆ 地域や企業などが実施する学習の場に関する情報の収集と活用
- ◆ 地域教育力の向上に向けた成人世代の人材発掘・育成

### (3) 高齢者世代

#### 【現状と課題】

少子高齢化、人口減少という社会的な問題は、本市も例外なく進行している状況です。

そのような中、高齢者の方々に対して、自主学習の場としてのときめき大学の開設や、地域の特色を生かした学校支援地域本部事業や、放課後子ども教室においては、昔遊びを通して小学生との交流を深める「世代間交流」などを実施しており、高齢者が長年の経験により身に付けた知識、技能、規範意識、おもいやりの心などを子どもたちに伝えることは、地域の教育力を高め、生きがいを感じられる機会となり、地域の活性化につながっています。

このように、高齢者の方々は、地域活動の中心的存在として活躍されている一方で、地域では活動する人材の固定化といった問題もあり、より多くの方々に、これまでの経験などを生かしながら活躍していただくことが必要です。

このことから、引き続き、高齢者の自主的な学びを支援していくとともに、高齢者自らが先頭に立って知識、技能などを次の世代へ伝えていくことができる環境づくりが重要です。

### **【目標】**

学習機会の充実と地域の模範となる高齢者の活躍による地域教育力の向上

### **【施策の方向性】**

- ・ 自主的な学びに向けた学習の支援
- ・ 高齢者が身に付けている知識・技能などの活用
- ・ 世代間の交流や体験活動の機会の充実
- ・ 市民憲章等の普及・啓発活動の実践

### **【重点施策】**

- ◆ 学習機会の提供と生涯学習人材バンクの活用の促進
- ◆ 身に付けている知識・技能などを伝える環境づくりの促進

### 3 家庭教育

#### 【現状と課題】

すべての教育の出発点となる家庭教育は、家族のきずなやふれあいを通して、子どもが基本的な生活習慣や人に対する信頼感、思いやりや豊かな情操、自尊心や自立心、社会的なマナーや基本的倫理観などを身に付けていくうえで重要な役割を果たしています。

しかし、仕事や子育てなどで、時間的にも精神的にもゆとりを持つことができず、家族で食卓を囲み語り合うことや子どもと一緒に遊ぶことなど、家族のきずなを深めるために必要な「家族の時間」を積み重ねることができない家庭も少なくありません。

また、家族の時間が減少している要因として、近年は子どもたちがテレビ、ゲーム、スマートフォンなどの情報通信機器に接する時間が増えていることなどもあり、家族の時間を作るためには、情報通信機器と上手に付き合うことや生活習慣を見直すことなどが必要です。

親子が共に学び、育ち合う家庭教育を充実させるためには、家族の時間を充実させるばかりでなく、企業においては、従業員の休暇取得の推進や地域行事への協力・支援、また、地域においては、家庭と地域のつながりを通して、悩みを抱え、孤立しがちな家庭への支援、行政においては、各部局における横断的な取組により、家庭教育の支援など、社会全体で家庭教育を支えていく環境づくりが大切です。

## 【目標】

「家族の時間」の充実と社会全体での家庭教育の支援

## 【施策の方向性】

- ・ 家族のきずなを深める「家族の時間」の充実に向けた啓発
- ・ 家庭教育の充実に向けた関係機関との連携
- ・ 企業・地域などによる家庭教育への理解の促進

## 【重点施策】

- ◆ 情報通信機器に対する理解の促進と望ましい生活習慣の啓発
- ◆ 関係機関との連携と企業・地域などの理解の促進による家庭教育の支援

## 4 文化活動

### 【現状と課題】

本市では、平成17年3月に計画期間を10年間とする「登別市文化振興基本計画」を策定し、文化振興施策を推進してきました。

この間、社会の急激な変化は私たちの価値観や環境に影響を与えてきました。

今後も、市民一人ひとりが自主的、主体的にふるさと登別の文化の創造に関わるとともに、文化遺産の保護・継承と活用に努め、子どもたちが夢と希望を持って世界に羽ばたき、文化の多様化を認識し、私たちが住むこの土地への誇りと生きがいを感じられる個性ある文化活動と文化を育む環境づくりを進めることが重要です。

そのため、市民一人ひとりの個性を伸ばし豊かな感性や創造性を育むとともに、こころ豊かな生活を送ることができるよう、だれもが文化に親しむことのできる環境の充実を目指す「第2次登別市文化振興基本計画」（平成27年9月策定）を推進し、市民・文化団体・学校・企業・行政などが自主的・主体的・積極的に、相互に連携を図りながら文化振興施策に取り組むことが必要です。

### 第2次 登別市文化振興基本計画

市民一人ひとりが自主的、主体的にふるさと登別の文化の創造に関わるとともに、文化遺産の保護継承と活用に努め、子どもたちが夢と希望を持って世界に羽ばたき、文化の多様性を認識し、私たちが住むこの土地への誇りと生きがいを感じられる個性ある文化活動と文化を育む環境づくりを進めるための計画

平成27年9月  
登別市教育委員会



## 【目標】

第2次登別市文化振興基本計画に沿った文化活動施策の推進

## 【施策の方向性】

- ・ 誰もが文化に親しむことのできる環境の充実
- ・ 文化活動の担い手の拡大
- ・ 歴史・文化の伝承と活用に向けたふるさと登別の歴史と文化の継承
- ・ アイヌ文化の振興に向けたアイヌの人たちへの理解や後世への継承

## 【重点施策】

- ◆文化の保護・継承と市民の文化活動や文化を育む環境づくりの推進

## 5 健康づくり・スポーツ

### 【現状と課題】

本市では、平成17年3月に計画期間を10年間とする「登別市スポーツ振興基本計画」を策定し、スポーツ振興施策を推進してきました。

この間の社会を取り巻く経済情勢やスポーツ環境等の大きな変化を踏まえ、市民の「だれもが、いつでも、どこでも、いつまでも」気軽にスポーツに親しみながら健康で豊かな生活を送ることができる社会の実現を目指し、本市の実情に応じたスポーツ施策の理念を推進するため、「第2次登別市スポーツ推進基本計画」（平成27年9月策定）を策定しました。

今後も、年齢層に関係なく、気軽に親しめるスポーツの普及や指導者の養成をはじめ、健康づくり・体力づくりの推進や競技スポーツ、学校におけるスポーツ活動のさらなる推進を図るため、行政、市民、学校、企業、関係団体などが相互に連携を図りながらスポーツ推進施策に取り組むことが必要です。

第2次  
登別市スポーツ推進基本計画

平成27年9月  
登別市教育委員会

## 【目標】

第2次登別市スポーツ推進基本計画に沿ったスポーツ施策の推進

## 【施策の方向性】

- ・スポーツ・レクリエーション活動の推進に向けたスポーツを通じた人と人との繋がりや地域の活性化
- ・健康・体力づくりの推進に向けた世代に応じた健康増進と体力づくりの展開
- ・競技スポーツの推進に向けた競技スポーツのすそ野の拡大と人材育成
- ・学校でのスポーツ活動の推進に向けた学校と地域による児童生徒のスポーツ活動の充実
- ・施設整備の推進に向けた安全かつ快適にスポーツを楽しめる環境の充実

## 【重点施策】

- ◆スポーツ・レクリエーション活動・健康・体力づくりの推進
- ◆競技スポーツの推進
- ◆学校におけるスポーツ活動の推進

## 6 学習環境の整備

### 【現状と課題】

市内では、行政や市民団体などにより、様々な学習機会が提供されていますが、いつ、どこで、どのような学習機会があるのか、また、身近にどのような人材がいるのかといった学習に関する情報が、必要としている方々に、十分に届いていない状況があります。

そのため、学習機会を広く知らせるとともに、学習会へ講師を派遣する市民マイプラン講座、市内の講師などを登録した生涯学習人材バンクの周知と活用により、学んだ知識を生かし、そして循環させる環境を作っていくことが必要です。

また、ふるさと登別を学ぶ機会は、これまでも行政や市民団体などで提供されてきましたが、地域に根差す人づくりをより進めるためにも、市民がふるさと登別について学び、その魅力を伝えていく仕組みの構築が大切です。

様々な学習の場である社会教育施設は、その多くが建設から相当の年数が経過しており、老朽化が進んでいることから、施設の整備を図っていくことが必要です。

## 【目標】

学びの循環と市民の学習の場の確保

## 【施策の方向性】

- ・ 様々な学習の場に関する情報の提供
- ・ 生涯学習人材バンクなどを活用した学習の推進
- ・ 学習の成果を活用する機会の提供
- ・ ふるさと登別を学ぶことのできる仕組みの構築
- ・ 市民の安全・安心な学習の場である施設の整備

## 【重点施策】

- ◆ 学習に関する情報や学習の成果を活用する機会の提供
- ◆ ふるさと登別に関する情報の収集と活用